

■にいがた命のつながりプラン 新数値目標(案)

I 在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生

【第3次新潟市環境基本計画で定めた成果指標】

指標項目	現状(H25年度)	目標(H34年度)
生物多様性の象徴としてのハクチョウとの共存	日本一の越冬数	現状を維持
特定外来生物 ^{※1} の種類	10種	現状より減少
環境保全型農業を実施する農地の割合 ^{※2}	34.40%	50%

※1 日本在来の生物の生活をおびやかす外来生物を国が定めたもの

※2 主食用水稻作付面積に占める化学合成農薬・化学合成肥料を5割以上削減した栽培面積の割合

【数値目標】

← 区分の分類は現数値目標を元に、「継続」、「変更」、「新規」として表示

ア 新潟市の在来の動植物を守ります

新No	前No	区分	指標名	現状(平成26年度)	目標(H34年度)
1	1	継続	市民探鳥会参加人数	109人	200人
2	2	継続	佐潟ボランティア解説員活動人数	205人	250人

イ 動植物の生息・生育環境を守ります

新No	前No	区分	指標名	現状(H26年度)	目標(H34年度)
3		新規	福島潟クリーン作戦参加者数(案)	700人	

ウ 動植物の生息・生育情報を収集・蓄積します

新No	前No	区分	指標名	現状(平成26年度)	目標(H34年度)
4	9	変更	里潟学術研究委託事業件数	2件	3件

II 自然環境の持続可能な利用の推進

【第3次新潟市環境基本計画で定めた成果指標】

指標項目	現状(H25年度)	目標(H34年度)
水がよりきれいなランクになった河川・湖沼の水域数 ^{※3}	—	3地点
植栽やビオトープづくり等、美しい農村景観の形成を行う農地の割合 ^{※4}	78%	90%

※3 ランクとは、河川・湖沼の類型(AA, A, B, C, D, E)に相当するようなきれいさとし、項目としてBOD75%値/COD75%値で評価

※4 農地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動を支援する「資源向上支払交付金(多面的機能支払交付金事業)」の対象農地の割合

【数値目標】

ア 生物多様性の保全に配慮した暮らしづくりを進めます

新No	前No	区分	指標名	現状(平成26年度)	目標(H34年度)
5	10	継続	地産地消推進の店認定数	小売店69, 飲食店153	小売店80, 飲食店180
6	11	変更	廃食用油等の回収・利活用量	82,000 ℓ	110,000 ℓ (H30年度) ^{※5}
7	12	継続	下水汚泥のリサイクル率	100%	100%
	1	継続	【再掲】市民探鳥会参加人数	109人	200人
	2	継続	【再掲】佐潟ボランティア解説員活動人数	205人	250人
8	13	継続	園芸相談の相談件数	7,198件	10,000件
9	15	継続	「食と農の学校」参加者数	123人	150人

※5 平成31年度に当該項目における評価を実施し、目標を再設定

■にいがた命のつながりプラン 新数値目標(案)

Ⅲ 人材育成・協働の推進

【第3次新潟市環境基本計画で定めた成果指標】

指標項目	現状(H25年度)	目標(H34年度)
食育・花育センターが実施する花育体験プログラム等の実施団体数	30団体	70団体
保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率	48%	60%

【数値目標】

ア 生物多様性保全の担い手の育成を図ります

新No	前No	区分	指標名	現状(平成26年度)	目標(H34年度)
10	16	継続	佐潟水鳥・湿地センター年間来館者数	69,858人	75,000人
11	17	変更	水の駅「ビュー福島潟」来館者数	100,563人	110,000人
12	24	継続	学校版環境ISO校数	40校	40校
13	25	継続	公民館での環境教育事業の参加者数	850人	900人
14	26	継続	ふるさとにいがた体験学習推進事業の活用校割合	93%	100%
15	30	継続	にいがた市民環境会議会員数	33団体	40団体
16		新規	緑化活動推進事業の実施団体数	390団体	400団体
17		新規	「にいがた生きものファンクラブ」登録数	436件	2,000件
18		新規	「にいがた生きものサポーター」現地体験会参加者数	延べ112人	延べ300人

イ 市民参加・協働を進めます

新No	前No	区分	指標名	現状(平成26年度)	目標(H34年度)
19	31	継続	環境フェアの開催	17,208人	30,000人
	30	継続	【再掲】にいがた市民環境会議会員数	33団体	40団体

Ⅳ 地球温暖化防止などの推進

【第3次新潟市環境基本計画で定めた成果指標】

指標項目	現状(H23年度)	目標(H30年度) ^{※6}
市域の温室効果ガス排出量	694万- tCO_2	624万- tCO_2 ^{※7}

※6 平成31年度に当該項目における評価を実施し、目標を再設定

※7 基準年度(平成17年度)比15%削減